

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

うぐひす、いとうつくしき巢を作る。鳩はと、「これを習②はん」と思ひて、うぐひすに近づきて、巢の作りやうを見る。うぐひす、竹ぎれ、柴しばの折れを敷きわたして、その上に巢をかくるが、それまでも見とどけず、竹、柴をわたしたるばかりを見て、「もはや心得たり」と思ひて、おのれ巢を作る時は、木の枝に柴の折れ四、五本をわたし、その上に木の葉を敷きて卵を産む。卵、柴の折れのあひだよりもれ落つ。伝へられたる奥義おくぎをわきまへずして、ただ見たる、聞きたるにまかせて、よく知らぬことなれども、すべて知りたる顔したるを、鳩の巢にたとへたり。

(浅井了意「浮世物語」より)

*敷きわたして＝一面に敷きつめて。

*奥義＝その分野でのいちばん大事なひけつ。

問一 —— 線① 「いとうつくしき」の意味として適当なものを、次から選びなさい。

ア たいそうきれいな イ いくぶんきれいな

ウ たいそう立派な エ いくぶん立派な

問二 —— 線② 「習はん」を、口語に訳して書きなさい。

問三 —— 線③ 「作りやう」を、現代仮名づかに直して書きなさい。

問四 —— 線④ 「わたしたる」の主語を、次から選びなさい。

ア うぐひす イ 鳩

ウ 竹 エ 柴

問五 —— 線⑤ 「鳩の巢にたとへたり」とありますが、どのようなことを「鳩の巢」にたとえているというのですか。次から選びなさい。

ア 伝えられてきた奥義をまったく参考にせず、自分の経験をもとにしてものごとを判断してしまうこと。

イ 伝えられてきた奥義を十分に理解せず、よくは知らないことなのに知ったかぶりをする事。

ウ 伝えられてきた奥義を知らず知らずのうちに理解し、ついにはその道をきわめてしまうこと。

エ 伝えられてきた奥義を無視してしまったために、あらゆる事が理解できなくなる事。